

# 知恵と勇気を持って更なる革新！！

ポジティブな考え方が生む成功  
20代からそれ以降をいかに生きていくべきか  
「五里霧中でも踏み出さなきゃ始まんよ！」

B班 下岡 鈴木 柳

## <動機>

私たちは、自分たちがこれから目標とする人物にインタビューさせていただくにあたって、対象モデルを「世襲ではなく、一代で会社を築き上げた(ベンチャー企業の)人」に焦点を当てて考えることにしました。そして、その中でも、私たちが学んでいく「人的資源管理論」でメインテーマになるであろう“人”についてこだわりを持つ人物を探し出すことにしました！そこで、TV 番組「カンブリア宮殿」にも出演されていて、「売り上げよりも、お客様の数があさひの支持であり、お客様の数こそが商い(あきない)の生命線である」と豪語されていた、株式会社あさひ代表取締役 下田進社長にインタビューを依頼させていただくことになりました。

## <会社概要>

|         |                                               |
|---------|-----------------------------------------------|
| 社名      | 株式会社あさひ                                       |
| 本社所在地   | 大阪市都島区高倉町三丁目 11 番 4 号                         |
| 事業内容    | 自転車及びパーツ、アクセサリなどの関連商品の販売、各種整備及び修理などの付帯サービスの提供 |
| 創業      | 昭和 24 年 4 月                                   |
| 設立      | 昭和 50 年 5 月                                   |
| 資本金     | 20 億 6135 万円(2011 年 2 月 20 日現在)               |
| 代表取締役社長 | 下田進                                           |
| 従業員数    | 786 名(パート・アルバイト除く)(2011 年 2 月 20 日現在)         |

株式会社あさひとは、関西、関東を中心に全国に226店舗に展開。圧倒的品数とスピード処理を売りに、自転車販売台数ダントツ1位の専門チェーンです。また、“世界で唯一の株式上場の自転車店”であり、年間販売台数は100万台以上！「10台に1台はあさひの自転車」とも言われています。

## <下田進社長の紹介>

下田進(しもだ すすむ)社長とは、自転車一筋40年で、町の自転車店から身を起し、一代で“あさひ”を築き上げた“あさひ”の代表取締役社長です。下田社長は、三人兄弟の末っ子として昭和23年1月12日に生まれました。実家は製造業を営んでおり、その店が“あさひ”の原点となります。ロードレースのチームを持つほどのプロショップを経営していたこともあるそうです。

### <インタビュー概要>

私たちは、下田社長の人生を20歳のころも含め、過去・現在・未来という流れでインタビューを進めていきました。

#### ～過去編～

下田社長は20歳のころ、「なにをやるにしても目標を設定することができず、不安だった。何に踏み出せばいいのかわからない。二十歳前後が一番苦しい時期だった。」とおっしゃっていました。そんな下田社長を変えたのは、“結婚”でした。結婚を機に、「これではいけない！やるしかない。」と思い踏み出し始めたそうです。

#### ～現在編～

社内用語で“知恵と勇気で更なる革新”という言葉についてお話いただきました。言葉の通り、知恵と勇気をもって常に新しいことをして革新していく」という意味で、情報を得たら知恵と勇気でトライしていく、というのが非常に大事とおっしゃりました。下田社長が気にしていることは何か？という質問には普段社員の方に日ごろから意識させていることを教えていただきました。下田社長は、「人間は、年代によってやるべきことは違う。だから、いま自分は何をすべきか、ということをわかっていなければならない。我々はたった80年しか担えない！」と考えているそうです。そのため、今なすべきことを確実にこなしていくことが大切だそうです。

#### ～未来編～

下田社長が求める人物は、「Yes!」と言う人、つまり前向きな人で新しいことにトライできる、そんなポジティブな姿勢の人だそうです。「なんでも No！という人はダメで、何事に関しても Yes で答える！Yes の姿勢でいく！」とおっしゃっておりました。もし、たとえいま出来ないとしても Yes(前向きな返事をする)と答えるのと No と答えるのでは大きな差があります。No と言ったらそこで終わってしまいますが、Yes という答えには未来があり、可能性があるということなのです。Yes と答えてから、実現するまでの間、これこそが仕事だそうです！

### <私たちへのアドバイス>

“夢を夢で終わらさないためには、5年単位で目標を設定せよ！”

目標設定することにより、“今”何をなすべきかわかり、それをこなすことによって、“夢”へと繋がるとおっしゃっていました。日々、小さな目標を設定し、それをこなしていくことが大切だそうです。

### <感想・反省>

初めは、他のグループが4人であるのに対して、私たちは3人班ということで、とても不安に感じていました。また、大阪までインタビューに行くことになったと決まったときは、正直私たちも驚きと不安でいっぱいでした。実際行ってみると大阪をきっかけに3人が打ち解けることができました。肝心の発表までの経緯ですが、インタビュー時に軸を持って質問しなかったために二十歳の頃がメインテーマにも関わらず二十歳のころの発表内容が希薄になってしまいました。今後、今回の経験を生かし、

何をするにも軸を意識してその軸から反れないようにしていきたいです。

<最後に>

今回の企画を通じて、私たち自身も成長できたように感じます。20歳のころという素晴らしい企画を私達に提供してくださった先生、先輩方にも感謝をし、今後はこの経験を活かして何事にも積極的に取り組み、充実したゼミ生活を送りたいと思います。お忙しい中、私達のインタビューを快く承諾してくださった下田社長に心より感謝し、改めてお礼申し上げます。